

とっとり

県議会だより

編集・発行…鳥取県議会
県議会広報紙…年4回発行
令和元年12月1日発行

主な記事 Contents

代表質問 ……………	2~3p
一般質問 ……………	4~8p
常任委員会活動 ……	9p
議決結果 ……………	10~11p
学生議会、お知らせ …	12p

No.030

Sep.
9月
議会

9月定例会の概要

9月定例会は9月12日、平井知事から総額26億6千万円余の令和元年度鳥取県一般会計補正予算や鳥取県児童福祉施設に関する条例及び鳥取県認定こども園に関する条例の一部を改正する条例など15議案が提案されて開会した。

本会議では、代表質問は県議会自由民主党と会派民主が、一般質問には30名の議員が登壇。県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開した。

会期中、知事から土地利用審査会委員の人事案件7件が追加提案された。

審議の結果、20議案を原案どおり可決、

同意、2議案を継続審査とした。なお、令和元年度鳥取県一般会計補正予算(第2号)のうち環境管理事業センター支援事業について、処分場の必要性及び安全性に関し住民理解が更に深まるよう地元住民に寄り添い、最終的に許可を判断する県として、丁寧に調査を行い、しっかりと説明責任を果たすことなどの意見を付した。

議員提出議案については、天皇陛下御即位を祝す賀詞など4議案を提案し、原案どおり可決した。

陳情については、鳥取県境港整備の促進についてなど5件をいずれも不採択と決し、10月9日に28日間の会期を閉じた。

表紙の写真

三上紗也可 選手
(米子市出身)

女子3メートル板飛び込みで2020年東京オリンピック日本代表に決定。

飛び込みの国際大会代表選考会を兼ねた「飛び込み日本室内選手権(2019年4月19日開催)」で優勝した時の写真。

(日本海新聞
2019年4月20日掲載)

代表質問

自由民主党



選挙区 倉吉市
川部 洋 議員

県の将来と平井県政四期目

問 知事公約のチャレンジ55を反映させた鳥取県将来ビジョン、鳥取県元気づくり総合戦略の策定をどうするか？それらにSDGs（※）をどうな形で織り込むのか？

答 新年度に向けて新しい時代のスタートを切るために、総合戦略、地方創生関連の戦略を令和新时代創生戦略といった形でつくり直し、環境基本計画もSDGsを中心課題とする。SDGsの推進本部をつくり、新年度に部局横断的に検証、点検しながらPDCAサイクルを回し、対処していく。

人口減少下での県の仕事

問 人口減少による歳入減が県政に及ぼす影響は？歳入減に対する県の

仕事やサービスのダウンサイジングについて現状と今後の取り組みはどうか？

答 人口が減っても財政需要が減る訳ではないので、単純なダウンサイジングということにはならない。これまでも行財政のスリム化、効率化、筋肉質化に取り組んできたが、今後よりフレバーな形で選択肢をつくらなければこれからの時代を乗り切れない。

官民連携のさらなる推進

問 今後の民間活力の導入と、それによる財政の縮減効果はどれくらいか？官民連携の推進に当たって、地元企業や地元金融機関にどう働きかけていくか？

答 既に導入している鳥取空港は定常的に1,200万円位収支を浮かせた。現在進行中の水力発電は102億円+αの財政効果が見込め、こうした例を米子市内の県有施設などに展開をしようとしている。官民連携の説明会やセミナーを県だけでなく金融機関等も行っており、参加する企業のモチベーションも上がってきている。

スマート自治体の推進

問 県の業務のスマート化について進捗状況と成果はどうか？

答 A-1化、ロボットの試験導入を今年度始めて、総合事務センターの超過勤務は格段に減少した。令和3年度までに100位の分野を増やしていきたい。

県内の市町村の持続可能性

問 今後市町村と県の役割分担の見直しなど、人口最少県らしい持続可能な自治体のあり方について、市町村と検討する必要があると考えるがどうか？

答 いろいろな形で市町村を補い、実情に即した連携体制をつくっていくことが目指すべきやり方だと思う。人口最少県らしいモデルを示すことを旨として今後市町村と協調していきたい。

県民所得の向上と産業振興

問 農業生産額900億円と製造品出荷額9,000億円を実現することで県民所得が上がる仕組みは？所得向上には、あらゆる産業分野で個々の企業、事業者の労働生産性の向上が必要だが、県はどのように取り組んでいくのか？

特に社会福祉の分野の所得向上についてはどうするのか？

答 1人当たりの県民所得の向上には、生産を拡大すること、労働生産性を上げていくこと、実際の給与についてテコ入れを図ること、これらを一連の流れの中でやっていくことが必要。キーとなる中小企業も含めた労働生産性の向上について、産業成長応援の補助制度をつくり動いてきている。また、公定価格のような福祉分野の賃金は、国に改善の申し入れをするのとあわせて、生産性向上のために先端技術の導入についても応援をしている。

誰一人取り残さない教育

問 高校に行けなかった子ども、高校を卒業できなかった子どもを今の学校制度ではフォローもサポートもできていない。こうした子どもたちへの支援について、公教育で救うべきだと考えるがどうか？

答 (教育長) 小中学校から成人になるまで、支援を要する子どもたちの情報が切れ目なくつながれていくことも大切だと思う。関係機関できちんと情報共有できるようにシステムの検討を進めたい。

※SDGs (エスディーゼーズ) : 「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称。国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための国際社会共通の目標

代表質問

会派民主



選挙区 西伯郡
福間 裕隆 議員

韓国江原道との友好交流

問 両知事会談は相互信頼に基づく友好交流の証として、私は高く評価し大きな拍手を贈る。ご苦勞もあつたと思うがご披露されたい。

答 江原道庁挙げての歓迎を受けた。こつこつ時だからこそ交流を絶やさず発展させる方向性が大事であり成果があつた。韓国で日韓交流を大切に頑張っている自治体のトップを大切にせねばならない。それに応じる責務がある。

平井知事の県政運営

問 本県最大の武器である自然(水、空気、大地)を軸とした政策の集中に徹してはどうか。

答 自然、人、町の潤いを出発点に

し安心と活力の2つの軸を發展させる方向で12年間やってきた。鳥取砂丘条例、星空保全条例、大山開山1300年祭等自然と共にを追求。今後わかり易く県民参画県政をやりたい。

自治体立病院の存続

問 存続には県の支援が不可欠。町立病院の医師を県全体での雇用と一体的な運用としてはどうか？

答 今後とも積極的に支援する。医師確保は自治医大、鳥取大学の運用枠を活用するなど、専門医養成も含めて協議、解決策に結びつけたい。

農業振興

問 地域農業の維持、担い手の確保、将来目標の作成が急がれるが？支援策の使い勝手の悪さが指摘されており、現場の状況をしっかりと把握したきめ細やかな政策が必要では。

答 将来を見渡した集落の中の話合いを基本とした農業の姿を追求し、今後も促進策をとる。使い勝手については、付加価値に着目し補助

制度の見直し、弾力化等来年度当初予算に向けて関係者と話し合う。

働き方改革・就業環境整備

問 労働の質の向上を目指した就業環境整備が必要。改正最低賃金の周知徹底を。中小企業に対して実効性のある大幅な支援を講じるべき。知事の所見は？

答 連合鳥取、県経営者協会、県で三者協定を締結し、また長時間労働是正のプロジェクトをスタートさせた(全国初)。県庁に働き方改革組織を立ち上げ、関係団体、地域を挙げて進める。最低賃金は県政日より等で周知を図る。中小企業支援は経営改善や先進的な技術への応援等。また産業応援助成制度の活用など。

部落差別解消の取り組み

問 調査無くして政策の実行はあり得ないと思う。鳥取県内の部落差別の実態調査を行うべきと考えるがいかがか？

答 実態が分からずして政策は打てない。当然必要である。部落差別解消につながる実効性のあることを当事者団体と一体になって進めるなど、従来よりも実効性があり、権利侵害にならないようなやり方を工夫

する必要がある。検討したい。

淀江産業廃棄物最終処分場

問 設置する場合は地域の皆さんの理解と合意が大前提。今後の対応を問う。

答 安全性について県として改めて精細な調査を行う。地元におけるより一層の理解を深める努力をする。襟を正して真摯に地元の皆様に向き合つて参る。

政治参加の促進

問 高校に期日前投票所を設置し、若年層の投票率向上を強化したらどうか？移動投票所を準備し中山間地域を巡回、投票率向上を目指したらどうか？

答 (選挙管理委員会委員長) 高校への期日前投票所設置は市町村選挙管理委員会の判断。本県では設置事例はない。高校所在地の市町選挙管理委員会の選挙人名簿登録人が対象なのでかなり限定される。

本県では当日投票所を移動させる柔軟な運用は困難。理解いただきたい。



代表質問

一般質問

常任委員会活動

議決結果

一般質問

9月定例会では、30人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

将来を担う子どもたちの新たな働き場所作り



山口 雅志 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 ICTに特化した産業振興と人材育成の必要性について。

答 ICTを新しい産業の成長基軸として人材育成を含めた新しい産業成長のビジョンを再構成する。企業トータルのニーズに応えられるよう生活環境・教育等を含め、従来ある企業立地の推進本部を改組する。企業も関わる若者育成のゆりかご的プログラムを発展させ、サテライトキャンパスも応援する（**教育長**）市町村教育委員会、知事部局、民間企業等とも連携し地域課題解決型のICT人材育成に取り組む。

中山間地域振興、観光対策、外国人労働者等



藤井 一博 議員

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

問 ①中山間地域振興条例の適用範囲に辺地も含めては②日韓関係の悪化により本県の観光業が影響を受けているが対応は③外国人労働者の受け入れに際し、日本語教育の充実が必要ではないか。

答 ①辺地法（※）との不整合がないように解消を図る②上海との定期路線就航を受け、本県の知名度を上げるための広報活動に注力する。台湾、東南アジアなどインバウンド観光の多角化を図る③県としても日本語学習の機会をつくりたい。

本県の認知症対策について



島谷 龍司 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 国の策定した認知症施策推進大綱を踏まえ、今後どのように取り組むのか。また、若年性認知症患者の就労支援にどのように取り組んでいくのか。

答 大綱の柱である予防と共生に沿って認知症予防プログラムを全県展開するとともに、元気と福祉のプランの中でも地域を挙げて予防活動を強化する。また、医療機関等と連携し取り組みの実効性を高める。若年性認知症患者への就労支援は、今後県立ハローワークで対応できるよう強化したい。

更なる障がい者の職場定着と雇用促進支援！



濱辺 義孝 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

問 障がい者等対象に実施予定の就業実態調査、障がい者の職場定着推進のため、どのように実施するのか知事に問う。特別支援学校卒業後の就労への切れ目ない支援をどのようにするのか教育長に問う。

答 賃金、障がい者の状況、離職理由等、中身を精査し新年度予算に反映できるよう進める。（**教育長**）卒業前は、学校が中心、卒業後は、障害者の就業・生活支援センターが中心になり、基本的な役割分担の体制を敷き支援をしている。

①結婚支援事業 ②斎尾廃寺跡



語堂 正範 議員

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

問 ①この事業は子育て支援の一丁目零番地、しっかり行うことが、子供たちの産み育てることに繋がると考えるがどうか？
②山陰唯一の特別史跡「斎尾廃寺跡」を知事はどのように評価しているか、活用は？

答 ①婚活事業の重要性は増しており、今後とも必要と考えている②法隆寺式の伽羅の配置なども非常に歴史的にも価値が高いものであり、時代に即した周遊ルートの設定ということもある。よく検討する。

日韓の交流事業と竹島の領土教育を問う



鹿島 功 議員

選挙区 西伯郡
会派 自由民主党

問 ①日韓関係が悪化しているからこそ、正しい両国の歴史を学び、歴史教育の充実の上に立った継続的交流が必要では②昨年度、中四国地方を対象とした国主催の「竹島・北方領土問題青少年・教育指導者研修会」に鳥取県だけなぜ参加しなかったのか。

答 ①国の重要な課題である。地域がなすことをしっかりとしていく（**教育長**）国際交流を継続する中で人材育成を図る②（**教育長**）来年度以降、研修会の参加等、積極的に取り組んでいく。

※辺地法：辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律

一般質問

議事録の全文は、県議会ホームページから
ご覧になれます。

鳥取県議会

検索



人口減社会で後世のために取り組むことは



西川 憲雄 議員

選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

問 ①極端な若年層の減少、地方より都市部での出生率の低下により大きな問題が予想される。対策を考えておくべき②IPS細胞の活用により、本当の意味の100年時代を迎える。健康寿命延伸の取組を。

答 ①時間の処分権や、鳥取モデルで時代の価値観をもう一つ新しく作り上げていく②健康づくり文化創造プランの中で標榜していく。男性の平均寿命が下位という課題が残っているので、課題研修やネットワーク作りのやり方について検討する。

観光振興策について



安田 由毅 議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

問 ①我が県に外国人富裕層を送客して頂くために、日本コンシェルジュ協会定例会を鳥取県に誘致してはどうか②鳥取県はユニバーサルツーリズム(※)の聖地を目指すべきでは。

答 ①高級ホテル等のコンシェルジュの皆様の本県の応援団になって頂けるチャンスだ。大会誘致を具体的に進める②バリアフリー観光への対応が、増大する高齢者層の旅行客獲得にもつながる。関係者と共に体制づくりを展開する。また観光人材の育成にも努めていく。

①手話通訳の配置を②不妊強要③すなば活用



福浜 隆宏 議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

問 ①県立中央病院に手話通訳者の配置を②旧優生保護法下で結婚相手を紹介する代わりに子どもを作るなど言われたご夫婦がいる。調査を③「砂遊び効果」普及のため、砂丘西側ビジターセンターに「全天候型すなば設置」を要望する声がある。検討のため、先進地の調査を。

答 ①課題解決のため病院当局と話をする②人権調査に組み込む等重要素材として向き合う③砂丘に「すなば」は変かと思う一方、簡素ならありえるかも。可能性を関係者に伝える。

自治体立病院を守ろう 台風被害の教訓生かす



興治 英夫 議員

選挙区 倉吉市
会派 会派民主

問 ①厚労省の自治体立病院の再編・統合に対する取り組みは②台風15号被害の教訓は。大規模停電対策として、電力会社との倒壊電柱・倒木除却等復旧作業の協定、携帯移動基地局の増設や無電柱化の促進を。

答 ①国に対して地域の実情を訴え、病院間の役割分担など、県内で適正な医療体制を考える②地域防災計画改定の必要がある。電気・通信確保のため、電力・通信各社との協定を考える。倉吉の八屋・山根間など、無電柱化計画を前倒しする。

空の駅、国際交通 鳥取砂丘こどもの国



銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

問 ①アツインポート愛称募集①かにつこ空港ロードの活用と沿道整備②DBSフェリー存続を③地方同士の定期便、チャーター便など可能性追求を④砂丘こどもの国について。

答 ①知名度を高めるため愛称募集も検討するなど情報発信に努める①提案は効果的、実現可能性もあり、地元と協議を進めてみたい②貨物の開拓も含め手を尽くす必要あり③LCCも含めて、可能性を調査する④砂丘の検討とタイアップをしながら展開を考える。

淀江産業廃棄物管理型 最終処分場について



松田 正 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 淀江町のお母さん方とお話をさせていただいた。皆さんはとにかく水のことを心配されている。子どもたちが育っていく上で水が心配だと。こうした不安を払拭するための手立てが必要では無いか。

答 大変な重い御苦勞を背負い込んでいただいている地元の皆さんに、寄り添って物事を進めていかなければならない。水の安全性については、県としても法手続きの前段階で、一定の調査を考えたい。

※ユニバーサルツーリズム：全ての人を楽しめるよう創られた旅行。高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行

一般質問

【答弁者説明】 答弁者は、記載のないものは知事（各部長の答弁も含む）。教育長、警察本部長、選挙管理委員会委員長は知事の部局ではないため、別に表記しています。

国安地区堤外農地 浜村鹿野温泉IC



坂野経三郎 議員

選挙区 鳥取市
会派 会派民主

問 これは大正7年に始まる課題。解決には千代川水系河川整備計画の変更しかあり得ない。集団移転記念碑建立100年目である2026年迄の解決を。

答 国安村の歴史に背を向けられない。国交省も事業計画化して過去の歴史を清算する可能性はある。鳥取市と協議する。地元の要望があれば真摯に向き合い、国交省との間に入る。

問 県道との交差点で視界の悪い状況は、何か対策が必要だ。

答 反射ミラーや注意看板を設置する。カラー舗装は調整。

鳥取県中部の医療事情 (地域医療) について



由田 隆 議員

選挙区 倉吉市
会派 無所属

問 鳥取県においては、医療計画を定め、県民が必要な医療を適切な場所で切れ目なく提供できる体制を確保するとなっているが、県中部地区では、小児科・耳鼻科医が不足している。改めて厚生病院の役割を伺う。

答 中部の課題として東西部と比べて医師の不足感が強い状況であり、現状をふまえ、小児科・耳鼻科の開業医と厚生病院が病診連携をとる必要があると思う。厚生病院はこれからも地域の実情に応じた医師確保対策を充実していくよう進めたい。

保育無償化、日米FTA 淀江産廃、精神医療



市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

問 ①保育無償化対象外の給食への県補助②日米FTA撤回と影響試算を③淀江産廃の白紙撤回。関係自治会6の内2が反対。住民に会うまで関連予算撤回。黒塗り資料公表を④中央病院精神科の常勤医師確保、精神科電話相談窓口の一般告知。

答 ①市町村の判断②農業団体と協議し、要望活動を協議③環境保全協定の協議の場面でご意見頂く。資料開示をセンターに確認中④医師確保は鳥大医学部と連携。救急電話相談窓口は県政日より掲載を準備中。

児相の第三者評価 産廃問題について



浜田 妙子 議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

問 ①全国で起る児童虐待死。児童養護の観点から児童相談所充実の為に国が進める第三者評価を行うべき②安心と信頼が揺らぐ産廃最終処分場。不安に対し、より高い専門的で確実な調査と丁寧な情報開示が必要だ。

答 ①第三者視点での評価が組織を育てる意味もある。もう少し時間を頂き新年度から導入を検討したい②純粋に安全性を確かめる調査をする必要がある。皆の信頼を得て、それが出来る環境になるか。どんな形でできるか検討してみたい。

教職員の働き方改革 工事現場の有価木



尾崎 薫 議員

選挙区 鳥取市
会派 会派民主

問 ①時間外勤務を実質的に削減出来るのか？土日を含めた部活動が教員の時間外勤務の多くを占めるが所見を②工事現場の有価木取り扱いには危険が伴う作業。手間、時間は掛るが単価があまりに低い。所見を伺う。

答 ①（教育長）業務の点検、廃止、縮小、外部人材登用など取り組みを進める。部活動のあり方を大きく変える必要がある。教職員の土日に地域の一員としての参加は関係者と良く協議する。②取り扱いの改善を早急に図らせて頂き丁寧に対応する。

防災ジュニアリーダー ・女性防災士の育成



澤 紀男 議員

選挙区 米子市
会派 公明党

問 宮城県教育委員会では高校生を対象に将来の地域の防災活動の担い手となる防災ジュニアリーダーの育成に取り組んでいる。一定の要件を満たすと宮城県防災指導員として県が認定する。鳥取県のジュニアの防災リーダーの養成についてどう考えるのか。また、女性ならではの視点で捉える女性防災士の活動はユニバーサルデザインといえる。養成状況について伺う。

答 教育委員会と連携し手法についても検討する。女性防災士は200人の養成を目指す。

一般質問

【県議会議を傍聴しませんか】本会議、委員会などの会議はどなたでも傍聴できます。議会日程をご確認のうえ、県議会においてください。

県民が幸せを実感できる施策方針



山川 智帆 議員

選挙区 米子市
会派 無所属

問 ①工連携推進の為、企業が参入し易い仕組みづくりとして、今までの企業負担無しの助成延長すべきではないか②県の補助金による産廃の地質調査報告、地下水の位置図・変動図全て黒塗り。公開できないのは、何か変な事が書いてあるのか。設計前の判断材料とし直ちに開示、具体的根拠求める。

答 ①できるだけ、テイクオフしやすいよう運用したい②今までで良いとは決して言っていない。個人情報以外開示できる所を精査する。

日野川東岸道路整備について



内田 隆嗣 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 鳥取県西部の外環道としての日野川東岸道路について知事の所見を伺う。

答 日野川の西岸道路については観音寺から車尾のあたり、JRの交差点周辺を平成26年から整備をしている。東岸道路はその整備を待つて必要性を検討したい。東岸道路のうちでも国道9号から国道431号線の間、ここは特に周辺の渋滞緩和と安全性の向上のために優先順位が高い区間であるというふうに考えている。

がん和健康インアウトバウンド対策



常田 賢二 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 ①県民に寄り添ったがん対策サポートサイトが必要では②多角化したインバウンド、個人旅行者への地元対応は③上海便就航を機に県民への利用促進策が必要では。

答 ①県のホームページは確かに物足りなく改善が必要、大々的に改修する②クレジット対応、キャッシュレス決済、消費税対策等、国や県の助成制度や補助金の活用を図っていきたい③商工団体への上海便PRやビジネス利用の説明会を計画、旅行会社の現地ツアーも企画中。

鳥取駅周辺活性化に対する県警察の考え方



中島 規夫 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 鳥取市中心市街地活性化に鳥取駅北口交差点の改良は必要であるが、前任の佐野本部長から引継ぎはなされたか。また、津田本部長の考え方は。

答 (警察本部長) 鳥取駅周辺の賑わい創出について、詳細な引継ぎを受けており、県警察として趣旨に賛同し、実務者による具体的な検討作業を始めている。人が替わったからといって姿勢や判断が変わるものではない。駅周辺活性化には、交通の安全と円滑に留意しつつ、積極的に取り組んでいく。

出勤要請が多くなる中 県警でも直轄警察犬を



伊藤 保 議員

選挙区 東伯郡
会派 会派民主

問 警察犬の昨年の出勤件数は67件。出勤準備を含めると90件を上回る。特に行方不明者の捜索の出勤要請が増える中、民間の嘱託警察犬だけでなく、直轄警察犬を導入すべきでは。

答 (警察本部長) 民間の嘱託警察犬と指導手が減少する中、必要な事案に十分対応できなくなることを危惧している。嘱託警察犬への興味を高め、指導手の確保を図るとともに、様々な事案での警察犬の出勤要請に迅速、的確に対応できるよう直轄警察犬の導入に取り組みたい。

「医食同源」で健康創造、米子に食の大学を



西村 弥子 議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

問 ①働き盛り世代のがん予防に効果的とされる野菜スープの「ファイトケミカル(※)」で親子一緒に食育を。県推奨レシピを活用し商品開発しては②若者流出入策に「食と健康」の大学を米子に設置してはどうか。鳥大医・産学官で地域課題の克服を。

答 ①野菜を食べる運動を展開し、「食のみやこ」改善を進めたい(教育長) 1日350g以上の野菜摂取を掲げ、やり方を協議したい②思いは非常に理解。食は施策の指標であり、経営面や他県の事例等を踏まえ検討したい。

※ファイトケミカル：植物が紫外線や害虫から身を守るために作り出す化学物質の総称。特徴として、活性酸素を消去する強力な抗酸化作用があるとされている

一般質問

党派正式名称

【自由民主党】鳥取県議会自由民主党
【会派民主】会派民主
【公明党】公明党鳥取県議会議員団

共生社会の実現に向けた療育体制の強化



浜崎 晋一 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 県立総合療育センターのあり方について、訪問診療や訪問介護など社会資源の整備状況、保護者の思い、利用者ニーズ、今後の利用者の姿など、10年、20年先をイメージした抜本的な見直しが必要ではないか。

答 そうした視点も含めて環境を整えることが必要になってきた。いろいろな手立てを増やしていることは事実であるが、関係者と協議し、何らかの形で解決を図り、地域で受け入れる環境をつくるのが長期的な解決策になると思う。

①人財の育成 ②医療介護の提供体制



野坂 道明 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 ①県職員に対し医療介護の実態を学ぶ現場研修が重要だと思うが所見を伺う②県立中央病院の増床は、鳥取県地域医療構想に基づき東部圏の主な医療機関の減床が前提だと思うが、病院間の調整を如何に図るのか。

答 ①例えば福祉医療部局とか、体験研修のあり方を点検し充実させていく。②持続可能な医療のあり方を考えると医療介護をめぐる病院間の調整が必要であり、この度の国のWG（※）の公表が今後の話し合いを加速させることになると思う。

本県におけるスポーツ振興の取組みについて



浜田 一哉 議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

問 ①スポーツの普及や支援の取組の現状について知事の所見を伺う②スポーツの振興に特化したファンドを創設してはと考えるが、知事の所見を伺う。

答 ①スポーツは、様々な高揚をもたらす。障がいの有無にかかわらず、人材を供給することで全県に広めていく②現在、ふるさと納税の未来世代育成というジャンルで特別会計や基金に積んでいるが、多くの方々に協力してもらえよう環境づくり、ファンドについても今後検討していく。

所有者不明土地対応と相続放棄について



内田 博長 議員

選挙区 日野郡
会派 自由民主党

問 ①今後の所有者不明土地等問題の対応・検討に当たって、市町村の意見が反映された内容となるよう知事会で支援していただきたいが、知事の所見は②相続放棄された土地等は国有財産となるが、売却先・用途によっては地域に混乱を招く可能性もあるのでは。

答 ①国の動きに対して、状況をよくフォローしていく②国の審議結論が出ていないが、自治体に無用な混乱が起きない制度にするよう要望していく。

アニメによる地域振興酪農への支援策



広谷 直樹 議員

選挙区 岩美郡
会派 自由民主党

問 ①アニメと漫画で県内の活性化を図る「まんが王国」建国から7年経過した。県としての成果は②県内の酪農の大規模化が進む中、拡大一辺倒ではなく生産基盤維持には中小酪農家への支援が必要③来年の全国ホルスタイン共進会への対応策は。

答 ①H24年の建国以来、岩美町も含め観光・経済面に大きな効果があった②リスクを避けるためにも中小酪農家への支援制度を充実したい③支援を惜しまず、今度こそ優等賞をとろうと色々と戦略を練っている。

子どものための教育とは



森 雅幹 議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

問 他県の事例として、宿題、定期テスト、クラス担任、校則（頭髪・服装）等廃止の取り組みがある。鳥取県でも可能か？

答（教育長）新任校長研修の中で紹介し、実行の働きかけもしている。学校現場と地域が同じ意識の下に取組むことが必要。子どもの主体的な学びに本当に繋がっているのか、社会に移行していく力が育っているのかといった視点でもう一度点検をしてみる必要がある。学校の主体性・自律性を尊重しながら働きかけを行ってまいりたい。

※WG：ワーキンググループ（作業部会）

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審議に加え、閉会中も継続審査や県内外調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会

9月定例会では、本委員会所管の令和元年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）及び会計年度任用職員の設置に伴う関係条例の整備に関する条例の2議案について慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

また、NHK放送のスクランブル化及び希望者との契約の締結に係る検討の開始を求めるものなど、新規の陳情2件について慎重に審査を行った結果、いずれも不採択と決定した。

県外調査では、宮城県及び秋田県を訪問し、地方創生の取組をはじめ、地方自治体におけるSDGs推進の取組、学校安全及び英語教育推進の取組等について調査を行った。



福祉生活病院常任委員会

9月定例会では、本委員会所管の補正予算など8件の議案について、慎重に審議を行った結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

また、陳情1件について慎重に審議を行った結果、「不採択」と決定した。

そのほか8月28日から30日まで、奈良県庁、滋賀県庁、近江学園、豊橋市バイオマス利活用センターを訪問し、本委員会所管に係る調査を行い、その中でも精神障害者医療費助成事業、豊橋市バイオマス利活用施設整備・運営事業については、本県においても参考にすべき取組であったことから、執行部へ提言を行った。



農林水産商工常任委員会

9月定例会では、本委員会所管の「令和元年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）」など3件の議案について、慎重に審議を行った結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

県外調査では、7月30日から3日間の行程で、群馬県、栃木県、福島県、東京都を訪問し、外国人材が活躍する企業の取組、航空産業参入事例を通じたこれからの中小製造業の取組、自律多機能型農作業ロボット導入の取組、養殖漁業の取組、そして、今年4月にリニューアルオープンした首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」による、県産品販路拡大の取組を調査し、本県商工業、農・水産業の発展に大いに参考になるものであった。



地域づくり県土警察常任委員会

9月定例会では、令和元年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）など4議案について慎重に審議を行った結果、妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

併せて、新規の陳情2件について慎重に審査を行った。このうち、「鳥取県境港の整備促進について」は現在、境港管理組合が中心となって境港の20～30年後の将来像等を取りまとめる長期構想を策定中であり、その結果を踏まえ、今後改訂予定の港湾計画に反映されることから、不採択と決定した。

また、8月には山形県、秋田県を訪問し、観光誘客策、特殊詐欺被害防止、中山間地域活性化策などについて調査を実施した。



自由民主党													会派民主					公明党			無所属				賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果				
浜田	中島	内田	内田	斉木	浜崎	西川	広谷	野坂	島谷	川部	福田	藤縄	西村	坂野	森	尾崎	浜田	興治	伊藤	福岡	瀧辺	澤	銀杏	福洪					市谷	山川	由田	
一哉	規夫	隆嗣	博長	正一	晋一	憲雄	直樹	道明	龍司	洋	俊史	喜和	弥子	経三郎	雅幹	薫	妙子	英夫	保	裕隆	義孝	紀男	泰利	隆宏	知子	智帆	隆					
議案に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	32	2	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	32	2	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決
委員長報告に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	29	5	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	25	9	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	22	12	34	不採択	

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

議案等番号	件名	議決結果
⑰	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
⑱	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
⑲	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
⑳	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
㉑	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
㉒	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
❶	天皇陛下御即位を祝す賀詞	可決
❷	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	可決
❸	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書	可決
陳情元年-16	NHK放送のスクランブル化及び希望者との契約の締結に係る検討の開始を求める意見書の提出について	不採択
陳情元年-17	放送法における受信設備「設置」概念の同法の趣旨に従った適切な解釈を求める意見書の提出について	不採択

令和元年9月定例会付議案等議決結果（賛否が分かれた議案及び否決された議案）

議案等番号	件名	自由民主党						
		松田正	藤井一博	鹿島功	山口雅志	安田由毅	常田賢二	語堂正範
①	令和元年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○
	（附帯意見）環境管理事業センター支援事業について	○	○	○	○	○	○	○
⑥	鳥取県児童福祉施設に関する条例及び鳥取県認定こども園に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○
⑦	鳥取県営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○
⑧	天神川流域下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○
⑨	貸付金の返還に係る債務の免除に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○
④	地域医療の堅持に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○
議案等番号	件名	委員長報告						
陳情元年-14	鳥取県境港の整備促進について	不採択						
陳情元年-15	持続可能な年金制度の構築を求める意見書の提出について	不採択						
陳情元年-18	出前説明会をもっと使いやすくすることについて	不採択						

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案
 賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長。

※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

令和元年9月定例会付議案等議決結果（全会一致で議決された議案）

議案等番号	件名	議決結果
②	令和元年度鳥取県天神川流域下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決
③	令和元年度鳥取県営病院事業会計補正予算（第2号）	可決
④	会計年度任用職員の設置に伴う関係条例の整備に関する条例	可決
⑤	鳥取県個人情報保護条例及び鳥取県心身障害者扶養共済制度に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑩	工事請負契約（鳥取県防災行政無線一斉指令システム等更新工事）の締結について	可決
⑪	工事請負契約（境漁港高度衛生管理型市場整備事業2号上屋新築工事（1工区建築））の締結について	可決
⑫	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	可決
⑬	平成30年度鳥取県営企業決算の認定について	継続審査
⑭	平成30年度鳥取県営病院事業決算の認定について	継続審査
⑮	鳥取県警察手数料条例の一部を改正する条例	可決
⑯	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意

令和元年度 学生議会

鳥取県の次世代を担う県内の学生が県議会本会議場に集い、知事や副知事らに質問する学生議会が10月16日（水）に開かれ、若い視点で捉えた県政の諸課題について活発な論戦を展開した。

この取組は、開かれた議会を目指す議会改革の一環で、若者たちに県政への関心を高めてもらうことを目的に毎年実施しており、今回で11回目の開催となった。

今年は県内の大学、高等専門学校5校から9名の学生が参加し、指導役の県議会議員から質問の要領、構成等について個別にアドバイスを受けながら質問の原稿作成を進めてきた。

参加した学生からは、「県政や地方行政に興味を持った」、「選挙に参加しようと思った」、「鳥取を良くすることに一層の興味を持った」などの感想が聞かれ、大変好評であった。



鷺見 怜央さん



中島 ういさん



細田 竜裕さん



小林 快斗さん



小椋 一磨さん



瀧川 紘輝さん



松本 悠平さん



野口 涼さん



岡垣 杏果さん

(質問順)

学校名	学生氏名	質問項目
鳥取大学	鷺見 怜央	市町村合併について
公立鳥取環境大学	中島 うい	鳥取県に住む外国人について
鳥取看護大学	細田 竜裕	高齢者の健康増進について
鳥取短期大学	小林 快斗	空き家や使われなくなった農地などの有効活用と県の支援について
米子工業高等専門学校	小椋 一磨	外国人観光客の移動手段について
公立鳥取環境大学	瀧川 紘輝	鳥取県の街灯の少なさ及び暗環境の与える影響について
鳥取短期大学	松本 悠平	インバウンドと韓国との交流について
鳥取大学	野口 涼	鳥取県の農業戦略について
鳥取看護大学	岡垣 杏果	高齢者の免許返納について

11月定例会の日程案

期 日	日 程
11月28日(木)	本会議 (開会・提案理由説明)
29日(金)	常任委員会
12月 3日(火)	本会議 (代表質問)
5日(木)	本会議 (一般質問・質疑)
6日(金)	
10日(火)	
11日(水)	
13日(金)	常任委員会
16日(月)	
18日(水)	特別委員会
19日(木)	本会議 (採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。

スマートフォンからもご覧いただけます

本会議、常任委員会、全員協議会の生中継と録画中継のインターネット放送は、スマートフォンからもご覧いただけるようになりました。また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。



あ と が き

「とっとり県議会だより」は6名の議員（自由民主党4名・会派民主1名・無所属1名）で構成された「広報委員会」で編集作業を行っております。丁寧な議論と編集作業を通じ、公平公正な県政情報をお伝えしてまいりたいと考えております。

(広報委員会M)

発行日/令和元年12月1日

編集・発行/鳥取県議会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220

☎0857-26-7460 FAX0857-26-7461 e-mail : gikaisoumu@pref.tottori.lg.jp